

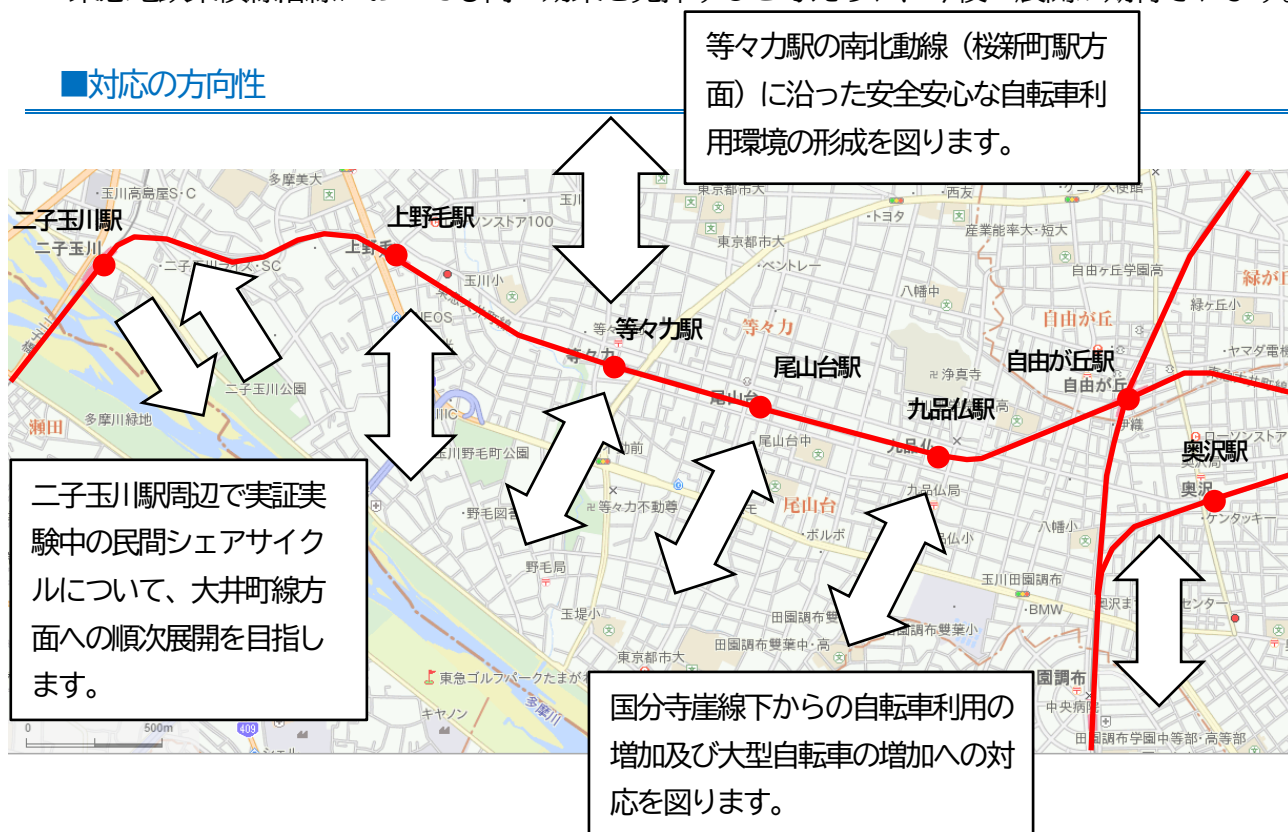
■自転車利用環境の現状と課題

区内における東急電鉄大井町線・東急電鉄目黒線・東急電鉄東横線の各駅は、いずれも地形上、国分寺崖線の上に位置しています。そのため、鉄道路線南側からの駅へのアクセスが坂道となることから、駅利用者数に比べ、自転車乗入台数が少ない区域でした。しかし、近年、坂道を苦にしない電動アシスト自転車の普及・浸透により、乗入台数が増加し、また、チャイルドシート付電動アシスト自転車等の比率も九品仏駅・尾山台駅で40～50%に達するなど利用が高まってきています。

鉄道路線南側の国分寺崖線の坂下の区域では、マンション建設が続いていて、今後も子育て家庭等を中心に人口の増加が想定されます。商店街やスーパーマーケットの多くは各駅周辺に位置することから、通勤通学における駅にアクセスする自転車、買い物等の利用の自転車の両方に対し、大型自転車対応を含め、需要に見合った駐輪スペースの確保等が必要となります。

これらの駅の西端に当たる二子玉川駅周辺では、令和2年度から民間シェアサイクル実証実験を行っています。電動アシスト自転車を配備し、ポートからポートへの短距離移動を基本とする民間シェアサイクルは、駅利用圏に国分寺崖線を含む東急電鉄大井町線・東急電鉄目黒線・東急電鉄東横線沿線においても高い効果を発揮すると考えられ、今後の展開が期待されます。

■対応の方向性



資料：「せたがや iMap」を基に作成

東急電鉄世田谷線沿線の自転車利用環境整備

■自転車利用環境の現状と課題

東急電鉄世田谷線は、南北動線を含む路線として京王電鉄京王線、小田急電鉄小田原線、東急電鉄田園都市線と結節しています。

駐輪場が整備されている駅は、松原駅、上町駅、世田谷駅の3駅となります。駅前放置台数は少ないですが、引き続き駐輪場への駐輪を誘導するなど、適正な利用を図る必要があります。

■対応の方向性



資料：「せたがや iMap」を基に作成

